

Patsnap Eureka と

国内 AI 特許ツールの比較検討

サマリア / MyTokkyo.Ai / Genzo AI / AI Samurai / Patentfield AIR

グローバル調査力、国内実務適合、エージェント性、根拠追跡性、セキュリティ、導入成熟度を共通軸で評価

調査基準日	2026 年 8 月 9 日
対象	Patsnap Eureka、サマリア（Summaria）、MyTokkyo.Ai、Genzo AI、AI Samurai 製品群、Patentfield AIR
情報源	ユーザー提供の PatSnap Japan 資料、各社の公式製品・料金・規約・セキュリティ・ニュース資料
評価上の原則	提供中／提供予定／未確認を分離し、ベンダー公称値は独立検証済み事実と区別

比較検討報告書 | 意思決定用

エグゼクティブ・サマリー

結論：単一の絶対優位製品はない

Eureka は世界データと新規性・FTO・R&D 横断のワークフローで先行する。一方、国内勢は日本実務、発明者との対話、組織内標準化、特許 DB 連携、大量母集団の一括査読で異なる強みを持つ。選定は『何を自律化したいか』を起点にすべきである。

最短の選び方

主目的	第一候補	判断理由
グローバル先行技術・FTO を R&D ゲートに組み込む	Patsnap Eureka	200M 超の世界特許、NPL・法的状態、特徴／クレーム単位の根拠マッピング。R&D エージェント群も同一基盤。
日本の調査・読解・分類・OA・明細書実務を深く効率化	サマリア	FI/F ターム、バッチ、SDI、記載／属否評価、変更履歴付き Word など国内実務の粒度が高い。
発明者との対話から検索・差分・弁理士相談資料まで	MyTokkyo.Ai	ChatDraft が不足情報を質問し、計画・自己評価・改善を反復。R&D 入口の導線が明確。
日本企業向けの全社標準化、国内保管、OA・翻訳	Genzo AI	島津製作所の社内運用を外販し、HITL と無制限ユーザーを志向。ただし検索・FTO 等の提供状況確認が前提。
日米中 DB を外部 AI からツール利用し、個社エージェント化	AI Samurai	ONE のクレームチャート／ABCD 評価と、MCP サーバーによる外部 AI 接続が特徴。接続先 AI を含む統制設計が必要。
大量の国内外公報を一括査読・分類・マップ分析	Patentfield AIR	最大 1 万件の検索母集団へユーザー定義の査読条件を一括適用し、原文照合、Excel、マップ、対話的ポートフォリオ分析へつなぐ。

経営・知財責任者への推奨

- グローバル調査と R&D 横断が戦略課題なら、**Eureka** を第一候補として PoC する。ただし JPO 案件、検索再現性、FTO の見逃し率は自社正解セットで検証する。

- 国内実務の即効性が主目的なら、**Patentfield AIR** とサマリアを比較する。最大 **1 万件** の一括
査読・ポートフォリオ可視化は **Patentfield AIR**、**OA**・明細書・**Word** 引継ぎの深さはサマリア
が有力。
- 発明発掘がボトルネックなら **MyTokkyo.Ai**、全社標準化なら **Genzo AI**、MCP 前提の内製エー
ジェントなら **AI Samurai** または **Patentfield API** を並行候補にする。
- **FTO**・侵害・特許性の最終判断は **AI** に委ねず、弁理士／弁護士レビューを統制点として残す。

推奨アーキテクチャ

一社への全面置換より、『**Eureka**＝世界調査・R&D』＋『**Patentfield AIR**＝大量母集団の査読・可視化』
＋『国内製品＝**JPO** 実務・発明者支援』を必要範囲で組み合わせる方が合理的な場合がある。重複契約
費より、誤検出・見逃し・レビュー工数を含む総コストで判断する。

1. 調査範囲と評価方法

1.1 対象と前提

本報告書は、2026 年 8 月 9 日時点で公開されている公式情報と、ユーザー提供の PatSnap Japan 資料を基礎に比較した。Tokkyo.AI は現行有料製品『MyTokkyo.Ai』、AI Samurai は ONE・ZERO・IP Samurai MCP サーバーを含む製品群として評価した。Patentfield は生成 AI オプション『AIR』を中心に、基盤検索・分析機能との組合せを評価した。

- 『提供中』は公式ページで現行機能として確認できたもの。『提供予定・要確認』は Coming Soon、予定、提供完了の公式確認が取れないもの。
- データ件数、精度、工数・費用削減は、特記しない限りベンダー公称値。独立第三者の共通ベンチマークではない。
- 料金は公開価格のみ。初期費、税、地域、ID、クレジット、モジュール、最低期間、外部 AI 料金により変動し得る。
- Patentfield AIR 本体の固定 3 段階ワークフローと、別契約の Patentfield API を MCP 化して外部 LLM で構成する知財 AI エージェントは分けて評価した。

1.2 『AI エージェント性』の定義

本報告書では、単なる生成・検索を AI エージェントとは呼ばず、次の 5 要素を公開情報で確認できる度合いを評価した。

要素	判定内容
目標理解	自然言語の目的、対象法域、制約、成果物を解釈する
計画	作業を複数タスクへ分解し、検索・分析順序を決める
反復	不足や低品質を検出し、質問、再検索、自己評価、改善を行う
ツール利用	特許 DB、NPL、法的状態、社内資料、外部システムを使う
検証可能な成果物	公報・段落・クレーム・検索式等へ戻れる形で出力する

1.3 評価尺度

5＝公開情報で広範かつ現行提供が明確、4＝強いが一部限定、3＝実用的だが範囲／証拠に制約、2＝限定的または主要機能が予定、1＝公開確認がほぼない。点数は相対的な調達仮説であり、総合順位ではない。

2. 横断比較

2.1 公開情報に基づく相対評価

評価軸	Eureka	サマリア	MyTokkyo.Ai	Genzo AI	AI Samurai*	Patentfield AIR
エージェント性	5	4	5	3	4	3
調査データ・法域	5	4	3	2	3	4
日本実務適合	3	5	5	5	4	5
根拠追跡・レビュー性	5	5	4	3	4	4
R&D×知財の連携	5	3	5	4	3	3
企業統制・セキュリティ 透明性	5	4	3	5	3	4
現行提供・公開成熟度	4	5	4	2	3	4

* AI Samurai は ONE + ZERO + IP Samurai MCP サーバーを組み合わせた評価。Patentfield AIR のエージェント性は AIR 本体を評価し、別契約の API + MCP 構成は含めていない。Genzo AI は検索・FTO 等を提供中と確認できないため現行評価を抑えた。

2.2 機能・提供状態

項目	Eureka	サマリア	MyTokkyo.Ai	Genzo AI	AI Samurai*	Patentfield AIR
計画・反復	提供	部分	提供	部分	MCP で提供	固定 3 段階
先行技術／新規性	提供	提供	提供	予定・要確認	提供	提供
FTO／クリアランス	提供	部分	公開詳細不足	予定・要確認	公開詳細不足	一次査読向け
意匠 FTO	提供	公開確認なし	画像商標は提供	公開確認なし	公開確認なし	類似画像は別機能

項目	Eureka	サマリヤ	MyTokkyo.Ai	Genzo AI	AI Samurai*	Patentfield AIR
明細書／発明届	提供	提供	相談資料まで	一部提供・予定	提供	公開確認なし
OA・中間処理	提供	提供	公開確認なし	提供	MCP 対象	公開確認なし
R&D 技術調査	提供	部分	提供	部分	部分	分析＋Web
NPL・世界データ	提供	部分	DB と Agent で差	範囲非公表	日米中特許中心	特許＋Web
API／MCP	別契約で提供	公開確認なし	公開確認なし	公開確認なし	提供	別契約・構築例

『部分』は機能の存在を否定するものではなく、法的状態、Agent 層の対応法域、反復検索、正式提供状況などの公開証拠が限定的であることを示す。

2.3 価格・提供形態の目安

製品	公開価格／形態	調達時の注意
Patsnap Eureka	Basic 無料（5,000 credits/月）。IP Search ページの Pro は \$400/月、20,000 credits/月。Enterprise・Open Platform は要見積。	一般 Pricing に \$200/月表示もあり、モジュール・地域・契約差を要確認。
サマリヤ	組織：年契約換算 25,000 円/月、月契約 30,000 円/月。個人 Free/Minimum/Business あり。税別。	同時接続・指示ポイント・会員管理オプションを確認。
MyTokkyo.Ai	1 ID 35,000 円/月、ボリュームディスカウント。	初期費、税、最低期間、利用量上限は要見積。
Genzo AI	年 100 万～1,500 万円、モジュール・規模別の個別見積。	公式サイトと島津リリースで税表記差。提供モジュールを契約書で固定。
AI Samurai	ONE、ZERO、MCP とも公開現行価格を確認できず、要問合せ。	外部 AI 利用料、ID、導入支援・研修、MCP 利用量を分離見積。
Patentfield AIR	AIR オプション月額 30,000 円～。法人 Mini 1 ID は月額 20,000 円（税別）のため、公示価格上の最小構成目安は月額 50,000 円～。	BASIC ではオプション契約不可。法人 Mini/Corp の年契約、処理量、外部モデル、海外翻訳・AI サマリー等の別オプションを確認。

3. 製品別評価

3.1 Patsnap Eureka

世界データを使い、新規性・FTO・意匠 FTO から R&D 技術調査までを証拠付きワークフローにする。

エージェント性	目的・法域・特徴を定義し、複数回検索、ランキング、特徴／クレームへの証拠マッピング、レビュー用出力まで進める。 Smart Planning ではタスク分解後にユーザー確認を置く HITL 型。
データ	現行公称は約 210M 特許、 216.3M NPL、 174 法域、 1.6B legal data、 35 億超のデータポイント。契約モジュール別の実収録・更新・全文範囲は要確認。
主機能	Novelty Search 、 FTO Search 、 Design FTO 、 発明届 、 特許ドラフト 、 OA 応答 、 監視 、 Technical Q&A 、 Find Solutions 、 Quick Research 等。
根拠・出力	公報・文献リンク、 feature-level evidence 、 claim chart 、 legal-status context 、構造化レポート。 Enterprise では Workspace 、 SSO 、 RBAC 、 監査ログ 等。
拡張	Open Platform は 300 超の data API 、 60 超の agent API 、 MCP 、 Widgets 、 Skills/SDK を公称。標準契約とは別枠の可能性。
セキュリティ	ISO 27001:2022 、 SOC 2 Type 1 、 TLS 1.3 、 AES-256 、顧客データを学習に使わないと公表。データ所在地・保持・ ZDR 等は契約確認。

評価できる点

- グローバル特許・NPL・法的状態と R&D エージェント群の広さは、本比較で最も明確。
- 特徴／クレーム単位で証拠へ戻れるため、レビュー工程を設計しやすい。
- FTO をコンセプト、設計、開発、出荷前の継続ゲートに置く運用と相性がよい。

留保・PoC 確認点

- 公式 PatentBench の Novelty は X Detection 85%に対し X Recall 37%（Top100、340 件、US/CN/EP/WO）。JP/JPO を含まず、漏れなしを意味しない。
- 通常 FTO ベンチマークは公式に進行中。添付資料の 60～500 倍高速化、最大 90～95%コスト減、1.6 倍精度等はベンダー主張として扱う。
- 日本語レポートと日本拠点は確認できるが、JPO クレーム解釈、FI/F ターム、訂正・存続期間、包袋、均等等は自社案件で検証する。

主な根拠：[P1][E1][E2][E3][E4][E5][E6]

3.2 サマリア (Summaria)

日本の特許実務を、検索・読解・分類・スクリーニング・OA・明細書まで深く支援する AI ワークベンチ。

エージェント性	AI アシスタント、複数文献比較、継続質問、バッチ指示、SDI、自動分類、検索式作成、多段階スクリーニングを組み合わせる。オープンエンド研究より定型知財工程に強い。
データ	JP/US/EP/WO/CN/KR/TW/AU の年代・更新頻度を公開。DOCDB 書誌／ファミリーは 90 超の国・地域、約 1.2 億ファミリー記録。CN/KR 翻訳・原文には時期差。
日本実務	IPC/FI/F ターム、記載評価・属否評価、無効資料調査、クレームチャート、国内外 OA/ISR/EESR、50 超の明細書チェック規則。
出力	Word/Excel/PDF、Word 変更履歴、検索式、ラベル・スコア・理由・関連段落・図面。実務引継ぎに向く。
利用状況	公式ページは 2026 年 7 月時点で 196 組織導入と表示。料金と収録仕様の公開が比較的詳細。
セキュリティ	AWS、SSL、ISO 27001/ISMS。複数の生成 AI API ヘブロンプト情報を送る場合がある。識別情報非送信・学習不使用を公表。

評価できる点

- FI/F ターム、OA、変更履歴付き Word、バッチ・SDI など、日本の知財部／特許事務所の実務粒度が高い。
- 収録範囲、料金、規約が比較的明確で、短期間の導入評価を組みやすい。
- 段落・図面・検索式までレビュー材料を残しやすい。

留保・PoC 確認点

- Eureka 型の自由度の高い R&D 課題分解・反復探索を同等に行う公開証拠は限定的。
- 法域・年代・更新頻度は均一でなく、古い OCR、図表、CN/KR 翻訳遅延を案件別に確認する。
- モデル別送信先、保持期間、リージョン、SSO/MFA/RBAC、監査ログ、DPA/SLA は契約で確認する。

主な根拠：[S1][S2][S3][S4][S5]

3.3 MyTokkyo.Ai (Tokkyo.AI)

発明者との対話から、探索・差分整理・弁理士相談資料化までを一つの導線で進める Agentic AI。

エージェント性	ChatDraft は目標設定→計画→実行→評価→改善を反復し、不足情報を質問。Deep Research は Search→Analysis→Proposal を役割分担し、ChatTokkyo へ追加検索をつなぐ。
対象ユーザー	研究者・技術者、R&D、知財、特許事務所、スタートアップ等。発明者自身が自然言語で使う入口を重視。
データ	検索 DB は JP/US/CN/KR/EP/WO と日本の審決・裁判例を公開。一方、Agent 層で同等対応が公式確認できるのは少なくとも JP/US。
出力	特許原文・段落番号の引用、比較、レポート、検索式・分析プロセスの可視化、発明ドラフト、弁理士相談資料。ChatDraft は完成出願書類ではない。
価格	公開価格は 1 ID 35,000 円/月、ボリュームディスカウント。専用サブドメインを付与。
セキュリティ	入力を AI 学習・二次利用しない、専用サブドメイン、アクセス制御・認証ログを公表。詳細な認証、保持、リージョン等は未確認。

評価できる点

- 計画・自己評価・追加質問というエージェント動作を、国内製品の中で最も明示。
- 発明アイデア→類似特許→相違点→相談資料という R&D から知財への引継ぎに強い。
- 原文引用を提示する設計は、生成 AI の回答確認を支援する。

留保・PoC 確認点

- DB 全体の収録範囲と、AI エージェントが実際に扱える法域を分けて PoC する。
- MyTokkyo.Ai 固有の OA、詳細 FTO、法的状態処理は公開確認が不足。
- 専用サブドメインだけでは物理／論理分離を証明しない。モデル事業者、保存・削除、SSO/MFA/RBAC、DPA/SLA を確認する。

主な根拠：[T1][T2][T3][T4][T5][T6]

3.4 Genzo AI

島津製作所の社内知財実務を基礎に、発明届・翻訳・OA 等を HITL で標準化する新しい国内 SaaS。

エージェント性	文書投入→不足情報補完→生成・提案→専門家確認という定型ワークフロー。FTO は外部 DB 検索から一次スクリーニングまで全自動と主張するが、公開情報では提供状況要確認。
提供主体	株式会社 Genzo AI。島津製作所 90%、IP Agent 10%出資。島津の社内運用を外販。
モジュール	発明届／出願、英中翻訳、OA、先行文献調査、FTO、契約レビューの 6 分野。公式サイト上、検索・FTO 等は Coming Soon 表示が残る。

提供形態	年間 SaaS、ユーザー数無制限、モジュール選択、カスタムプロンプト。大企業から中小・大学までを対象。
データ	先行文献・FTO は『連携外部 DB』。DB 名、収録国、更新、NPL、法的状態、ファミリー、根拠リンクは公開情報が限定的。
セキュリティ	顧客データは国内 AWS に保存。OpenAI/Gemini API は学習・二次利用を禁止。プロバイダー側で不正利用防止目的に最大 30 日保持される場合あり。

評価できる点

- 日本企業の知財部が作った運用ロジック、HITL、無制限ユーザーは全社標準化に向く。
- 国内保存、運営担当者のアクセス制限、ユーザー削除などの公開説明は比較的具体的。
- OA・翻訳・発明届を共通プロンプトで標準化したい企業に適合しやすい。

留保・PoC 確認点

- 2026 年 8 月 9 日時点で、先行文献、FTO、明細書等の本番提供完了を示す公式発表を確認できない。契約対象と提供日を明記させる。
- 外部 DB、根拠箇所、検索式、法的状態、性能指標をデモで確認する。
- 年 100 万～1,500 万円の幅が大きい。利用量、モジュール、サポート、外部 AI 料金を分解する。

主な根拠：[G1][G2][G3][G4]

3.5 AI Samurai

ONE の構造化検索・評価と、IP Samurai MCP サーバーによる『外部 AI が特許 DB を使う』構成を分けて評価する。

製品構成	AI Samurai ONE＝検索・ABCD 評価・クレームチャート・作成・レビュー。ZERO＝質問反復による発明ヒアリング。MCP＝外部 AI へ特許 DB ツールを提供。
エージェント性	ONE 単体はユーザー選択型の固定ワークフロー。MCP は Claude、Copilot、ChatGPT/Codex 等のエージェントから DB を呼び、検索・分析・文書作成を連結できる。
データ	公開情報上は日本・米国・中国特許。ONE は自然文・検索式、IPC、ABCD 評価、クレームチャート、IP ランドスケープを提供。
出力	構成要件ごとの該当語・段落、類似文献、ABCD 評価、各種マップ／グラフ、画面編集、Word 出力。
新機能	IP Samurai MCP サーバーは 2026 年 7 月 2 日提供開始。複数 LLM 討論『三人寄れば文殊の知恵』は 7 月 9 日時点で提供予定。

セキュリティ	TLS、FW、IDS/WAF、IP 制限等を公表。外部サービスに Azure OpenAI 、 Bedrock Claude 、 Gemini 。MCP では接続先 AI 側の条件も別途適用。
--------	---

評価できる点

- 日米中の特許 DB、クレームチャート、**ABCD** 評価というレビュー可能な固定出力が明確。
- **MCP** により、社内で選ぶ AI クライアントや業務フローへ組み込みやすい。
- 発明者向け対話（**ZERO**）と知財担当向け構造化評価（**ONE**）を使い分けられる。

留保・PoC 確認点

- **MCP** 構成の自律性・品質は接続先 AI、プロンプト、権限、ツール設計に依存し、製品単体の能力ではない。
- 日米中以外、**NPL**、法的状態、ファミリー、**FTO** クレーム解釈の仕様は公開情報が限定的。**ABCD** は法的判断ではない。
- 価格、保持・学習条件、**SLA**、**MCP** 監査ログ、プロンプトインジェクション対策、利用量制御を確認する。

主な根拠：[A1][A2][A3][A4][A5][A6]

3.6 Patentfield AIR

最大 **1** 万件の検索母集団へ生成 **AI** 査読を一括適用し、原文確認・**Excel**・マップ・ポートフォリオ分析へ戻せる国内向け分析レイヤー。

位置づけ	AI 特許総合検索・分析プラットフォーム Patentfield に追加する生成 AI オプション。プロフェッショナル検索、可視化、AI 類似検索、AI 分類予測等と連携する。
エージェント性	ユーザーが①査読条件を作成、②検索母集団へ適用、③結果を確認する固定 3 段階が中心。ポートフォリオ分析は追加指示で深掘りできるが、 AIR 本体が自律的に計画・再検索する公開証拠は限定的。
処理・機能	最大 1 万件の国内外公報を一括処理。独自要約、翻訳、実施例の組成・数値抽出、ラベル付与、教師ラベル評価、アイデア／請求項と先行文献の対比、競合・技術ポートフォリオ分析。
組み込みツール	2026 年 6 月 公表の新機能は Web 検索、 URL コンテキスト、コード実行。特許データと外部情報の照合、複雑な集計・可視化を支援するが、利用プラン・回数制限と自律的な検索再設計は要確認。
根拠・出力	通常検索画面で AI 査読結果と公報原文を併記し、最大 5 つの査読条件を同時表示。請求項構成要素の記載段落を示し、 Excel 出力、マップ集計・絞込みへ連携。

データ・法域	基盤は JP/US/EP/CN/KR/TW/WO 等の全文、DOCDB の 100 超法域の書誌、INPADOC の法的状況を収録。約 8,000 万件の特許・実用新案を AI 要約との公称。海外 6 法域の日本語サマリーは別オプションで、体系的 NPL DB は未確認。
API/MCP	Patentfield API は別オプション。公式の MCP 構築例では外部 LLM が段取り・ツール利用を担う知財 AI エージェントを構成できるが、AIR 標準機能ではない。
料金・セキュリティ	AIR は月額 3 万円～、2 週間トライアル。ISO/IEC 27001:2022・27017:2015、国内 AWS、2 段階認証を公表。モデル API は学習不使用だが、OpenAI 例では不正利用監視目的に最大 30 日保持。専用クラウド・IP 制限は別料金。

評価できる点

- 最大 1 万件の一括査読と、原文・Excel・マップへの往復は、大量スクリーニング、SDI、技術動向・競合ポートフォリオ分析に強い。
- プロンプトをテンプレート化し、最大 5 観点で同じ母集団を比較できるため、組織の査読基準を再利用しやすい。
- AIR の生成 AI 結果を既存の検索、AI 分類、類似検索、可視化へ戻せる統合度に加え、Web/URL/コードの組み込みツールは分析の拡張性を高める。

留保・PoC 確認点

- AIR 本体はワークフロー型の一括処理であり、Eureka や MyTokkyo.Ai のような目標分解・自律反復を標準機能として同等評価しない。API+MCP 構成は別契約・実装負担を含む。
- FTO 専用の法的状態・存続期間・クレーム解釈を含む完成ワークフローではない。一次査読用途として、見逃し率と弁理士修正時間を検証する。
- 海外文献の全文翻訳・AI サマリーは別オプションがあり、テキスト欠損の EP/CN 等は AIR 査読不能。AI 生成要約の誤り、OCR 欠落、翻訳更新による検索結果変動も確認する。
- 認証は確認できる一方、SSO/RBAC、AIR のプロンプト・出力保持、Web/URL 利用時のデータフロー、ZDR、監査ログ、バックアップ、削除 SLA は契約・質問票で補う。利用規約上の検索式・教師データ等の改善利用範囲も確認する。

主な根拠：[F1][F2][F3][F4][F5][F6][F7][F8][F9][F10][F11][F12][F13][F14]

4. 用途別の選定判断

用途	第一候補	次点/併用	判断ポイント
----	------	-------	--------

用途	第一候補	次点／併用	判断ポイント
海外を含む新規性・FTO	Eureka	サマリア	Eureka で世界検索・法的状態・NPL、サマリアで JPO 実務／FI・F タームを補完。
国内高件数スクリーニング	Patentfield AIR	サマリア	最大 1 万件への一括査読、原文照合、Excel、マップは AIR。OA・Word 引継ぎまで深めるならサマリア。
技術動向・競合ポートフォリオ	Patentfield AIR	Eureka	既存検索母集団の大量分類・可視化は AIR。特許外の論文・市場・R&D 仮説まで広げるなら Eureka。
発明発掘・研究者セルフサービス	MyTokkyo.Ai	AI Samurai ZERO / Eureka	不足情報を聞く対話と相談資料化。世界技術探索まで広げるなら Eureka。
OA・明細書標準化	サマリア	Genzo AI	現行機能の深さはサマリア。全社共通プロンプト・国内保管は Genzo が候補。
自社エージェントへの組み込み	Eureka Open Platform	Patentfield API / IP Samurai MCP	世界データ／Agent API、国内検索・分析 API、日米中 DB の MCP を、権限・ログ・開発費まで比較。
意匠クリアランス	Eureka	個別調査	本比較で意匠 FTO エージェントを明確に掲げるのは Eureka。画像範囲と法域を PoC。

5. 推奨 PoC：4 週間で『見逃し・修正時間・統制』を測る

デモの見栄えではなく、過去案件の正解セットを用いて、同一入力・同一制約で比較する。可能なら 2 技術分野、少なくとも各 5～10 件を盲検化する。

期間	評価テーマ	実施内容・KPI
Week 1	環境・統制	NDA/DPA、保持、学習、リージョン、権限、ログを確認。テスト用資料で導入・出力を標準化。
Week 2	新規性・大量査読	既知 X/Y 文献を含む 10 案件に加え、500～1,000 件母集団を一括査読。Recall@50、Precision@20、ラベル精度、段落対応、誤引用、処理費、レビュー時間。
Week 3	FTO・属否	製品構成×対象国の 10 案件。高リスククレーム見逃し、法的状態誤り、claim mapping、弁理士修正時間。

期間	評価テーマ	実施内容・KPI
Week 4	発明・OA・分析運用	発明ヒアリング 5 件、OA5 件、競合ポートフォリオ 1 件。欠落論点、補正リスク、マップ示唆、Word/Excel 引継ぎ、再現性、1 件総コストを評価。

5.1 合否基準の例

- 新規性：既知 X 文献の再現率を必須 KPI とし、検索上位だけでなく見逃し原因を記録する。
- FTO：法的状態とクレーム対応の重大誤りをゼロ許容に近づけ、弁理士レビュー前提の一次スクリーニング時間を測る。
- 根拠：公報番号、請求項、段落、取得日、法的状態基準日、検索式／条件を成果物に残せること。
- 運用：同じ入力で結論が変わる範囲、モデル更新時の回帰、監査ログ、権限分離、削除証跡を確認する。
- 経済性：ライセンスだけでなく、専門家修正、重複調査、誤検出、見逃し、教育、API/外部 AI 利用を含む 1 件総コストで比較する。

6. ベンダーへの必須確認事項

領域	確認質問
データ	法域別の全文・クレーム・法的状態・ファミリー・包袋・NPL、更新頻度、欠損、翻訳原文対応。
検索再現性	検索式、反復ログ、ヒット母集団、ランキング理由、取得日時、モデル／DB 版を保存・出力できるか。
精度	技術分野・法域別の recall/precision、既知 X 文献、claim mapping、法的状態の評価方法と生データ。
機能・契約境界	提供中・Beta・Coming Soon・別契約を明記し、AIR／基盤 DB／海外翻訳・AI サマリー／API・MCP 等の対象、提供日、SLA を固定できるか。
機密情報	モデル事業者側とサービス提供者側を分け、リージョン、保持、ZDR、学習・改善利用、サポートアクセス、バックアップ、削除 SLA を確認。
企業統制	SSO/MFA/RBAC、監査ログ、テナント分離、IP 制限、データ持出制御、障害復旧、第三者認証。
エージェント安全	MCP/API 権限、書込操作の承認、プロンプトインジェクション、外部 URL／添付の隔離、利用量・費用上限。

領域	確認質問
責任分界	FTO・侵害・特許性の免責、専門家レビュー要件、誤り時の対応、出力権利、規約変更通知。
	最終判断の統制点 AI の FTO、侵害、特許性、補正案は一次情報の抽出・整理・仮説形成として用い、最終的な法律判断、出願・応答方針、製品上市判断は弁理士／弁護士と社内責任者が行う。

付録 A. 主要情報源

本文の角括弧番号に対応する。すべて 2026 年 8 月 9 日までに確認した公式一次情報またはユーザー提供資料。リンク先は更新される可能性がある。

ユーザー提供資料

[P1] PatSnap Japan 『AI エージェントが変える特許調査の現場—「Patsnap Eureka」が実現する知財×R&D の新ワークフロー』— 2026-07-25。ユーザー提供 PDF。製品紹介資料。

Patsnap Eureka

- [E1] Patsnap Eureka IP Searching — 閲覧 2026-08-09。新規性、FTO、意匠 FTO、現行ワークフロー。 [公式ページ](#)
- [E2] Patsnap Eureka Plans & Pricing — 閲覧 2026-08-09。Basic/Pro/Enterprise。IP Search 側表示との契約差に注意。 [公式ページ](#)
- [E3] Patsnap PatentBench / Novelty Search — 閲覧 2026-08-09。Novelty の公称評価。JP を含まない。 [公式ページ](#)
- [E4] Patsnap Trust Center — 閲覧 2026-08-09。ISO 27001:2022、SOC 2 Type 1 等。 [公式ページ](#)
- [E5] Eureka - PatSnap Japan — 閲覧 2026-08-09。日本語製品概要。 [公式ページ](#)
- [E6] How Patsnap AI Agents Work — 閲覧 2026-08-09。計画、RAG/RAT、ガードレール等。 [公式ページ](#)
- [E7] Patsnap Analytics — データ欄更新 2026-07-26。現行公称データ件数。 [公式ページ](#)
- [E8] Eureka by Patsnap: FAQ — 閲覧 2026-08-09。検索・Workspace・言語・運用上の制約。 [公式ページ](#)

サマリア

- [S1] サマリア (Summaria) 公式製品ページ — 閲覧 2026-08-09。機能、導入表示、AI アシスタント。 [公式ページ](#)
- [S2] サマリア 利用料金 — 閲覧 2026-08-09。Free/個人/組織プラン。 [公式ページ](#)
- [S3] サマリア 収録公報・公報番号の仕様 — 更新 2026-07-28。法域、年代、更新頻度。 [公式ページ](#)
- [S4] サマリア 利用規約 — 更新 2026-06-30。外部 AI、責任分界、専門業務の位置づけ。 [公式ページ](#)
- [S5] サマリア ウェブグラウンディング — 告知 2026-07-28。Web 検索、対応モデル、指示ポイント。 [公式ページ](#)

MyTokkyo.Ai

- [T1] MyTokkyo.Ai 製品ページ — 閲覧 2026-08-09。現行プラットフォーム概要。 [公式ページ](#)
- [T2] MyTokkyo.Ai Agentic AI Patent Platform / ChatDraft — 2026-07-16。計画・質問・自己評価・改善。 [公式ページ](#)
- [T3] MyTokkyo.Ai Deep Research — 2025-12-18。Search/Analysis/Proposal のディープエージェント方式。 [公式ページ](#)
- [T4] MyTokkyo.Ai 収録範囲 — 閲覧 2026-08-09。検索 DB の法域・年代。 [公式ページ](#)
- [T5] MyTokkyo.Ai 価格 — 閲覧 2026-08-09。1 ID 月額表示。 [公式ページ](#)
- [T6] Tokkyo.AI 特許原文引用機能 — 2026-01-23。原文・段落根拠。ベンダー公式 note。 [公式ページ](#)

Genzo AI

[G1] Genzo AI 公式製品ページ — 閲覧 2026-08-09。モジュール、料金、Coming Soon 表示。 [公式ページ](#)

[G2] Genzo AI データ保護の取り組み — 閲覧 2026-08-09。国内 AWS、外部 AI、保持・削除。 [公式ページ](#)

[G3] 島津製作所：知財業務自動化 SaaS 提供の子会社 Genzo AI を設立 — 2026-03-25。設立、出資、製品・効果公称。 [公式ページ](#)

[G4] SHIMADZU TODAY：知的財産業務を自動化し、科学技術の未来に貢献する — 2026-06-15。開発経緯と HITL 運用。 [公式ページ](#)

AI Samurai

[A1] AI Samurai ONE — 閲覧 2026-08-09。日米中検索、ABCD、クレームチャート、Word。 [公式ページ](#)

[A2] AI が特許 DB を自由自在に操る時代へ—IP Samurai MCP サーバー — 2026-07-02。MCP 提供開始、対象 10 業務。 [公式ページ](#)

[A3] マルチ AI 発明創出機能『三人寄れば文殊の知恵』提供予定 — 2026-07-09。複数 LLM 討論。提供予定。 [公式ページ](#)

[A4] AI Samurai 利用規約 — 最終改定 2025-10-31。責任分界、外部サービス、利用情報。 [公式ページ](#)

[A5] AI Samurai 情報セキュリティポリシー — 改訂 2024-08-27。一般的な情報セキュリティ管理。 [公式ページ](#)

[A6] AI Samurai ZERO — 2023-09-05。対話型の発明ヒアリング・文書作成。 [公式ページ](#)

Patentfield AIR

[F1] Patentfield AIR 生成 AI 調査・分析オプション — 閲覧 2026-08-09。機能、3 段階フロー、最大 1 万件、出力、料金、モデル API 保持。 [公式ページ](#)

[F2] 『生成 AI 調査・分析オプション Patentfield AIR』リリース — 2024-07-01。提供開始と製品位置づけ。 [公式ページ](#)

[F3] Patentfield 料金プラン — 閲覧 2026-08-09。BASIC、法人 Mini/Corp の公開価格。 [公式ページ](#)

[F4] Patentfield 収録範囲に関するよくある質問 — 閲覧 2026-08-09。法域別 AI 対象、更新遅延、OCR・テキスト欠損、AIR 制約。 [公式ページ](#)

[F5] Patentfield 日本語横断検索 — 閲覧 2026-08-09。US/EP/CN/KR/TW/WO の日本語全文検索・分析と別料金。 [公式ページ](#)

[F6] Patentfield AI サマリーグローバルオプション — 閲覧 2026-08-09。海外 6 法域の日本語 AI 要約・検索・分析、対象プランと料金。 [公式ページ](#)

[F7] Patentfield API 連携 — 閲覧 2026-08-09。検索・AI 機能の組込み、別オプション。 [公式ページ](#)

[F8] Patentfield API と MCP で作る『知財 AI エージェント』開発(1) — 2026-01-26。MCP+外部 LLM の公式構築例。AIR 標準とは別構成。 [公式ページ](#)

[F9] Patentfield 専用クラウド環境構築 — 閲覧 2026-08-09。独自ドメイン、IP 制限、隔離環境、料金。 [公式ページ](#)

[F10] Patentfield AIR 製品ページ — 閲覧 2026-08-09。現行機能、処理量例、トライアル、料金。 [公式ページ](#)

[F11] Patentfield AIR 『組み込みツール』実務活用法 — 2026-06-04。Web 検索、URL コンテキスト、コード実行の公表。 [公式ページ](#)

[F12] Patentfield ISO/IEC 27001・27017 認証取得 — 2024-12-09。認証規格、登録範囲、AWS 利用者／クラウド提供者としての管理。 [公式ページ](#)

[F13] Patentfield 利用規約 — 閲覧 2026-08-09。サーバーデータ、改善目的の複製・利用許諾、終了後削除等。 [公式ページ](#)

[F14] Patentfield 2 段階認証の設定 — 閲覧 2026-08-09。TOTP 型 2 段階認証。組織強制適用は未確認。 [公式ページ](#)

付録 B. 解釈上の注意

- 本報告書は公開資料に基づく比較であり、各社から非公開仕様・契約書・精度データの提供を受けたものではない。
- ベンダーの導入件数、処理速度、コスト削減、精度は、条件・母数・比較対象が異なるため横並びに定量比較していない。
- 製品の名称・機能・価格・規約は更新され得る。見積・PoC 時に、機能一覧と提供状態を契約添付資料として固定することを推奨する。
- Patentfield AIR 本体と、Patentfield API を MCP 化して外部 LLM から利用する知財 AI エージェントは、契約・実装・自律性・セキュリティの責任分界が異なる。
- AI の検索・FTO・特許性・侵害・OA 提案は専門家レビューを前提とする。本報告書は法律意見ではない。